

2025年5月4日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第68巻第3号(通算3440号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

小さくされている人を
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。」

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

ふっかつせつだい しゅじつれいはい

復活節第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 116編 5-6節

賛美歌 21-408番「この世のもので」(©JASRAC)

聖書 列王記上 17章 8-24節

お祈り

賛美歌 21-453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

メッセージ「それでも生きる」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-499番「平和の道具と」(©JASRAC)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 116 編 5-6 節 (聖書協会共同訳)

⁵ 主は恵みに満ちた正しき方／我らの神は憐れみ深い。

⁶ 主は未熟な者を守ってくださる／私が弱り果てると、救ってくださる。

聖書 列王記 上 17 章 8-24 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁸ 主の言葉がエリヤに臨んだ。⁹ 「すぐにシドンのサレプタへ行って、そこに身を寄せなさい。私はそこで一人のやもめに命じて、あなたを養わせる。」

¹⁰ そこでエリヤは、すぐにサレプタ^{たきぎ}へ向かった。町の入り口まで来ると、そこで一人のやもめが薪^{たきぎ}を拾っていた。エリヤは彼女に声をかけて言った。「器に少し水を持って来て、私に飲ませてください。」¹¹ そこで彼女が水を取りに行こうとすると、エリヤは呼び止めて言った。「どうかパンも一切れ持って来てください。」¹² すると彼女は答えた。「あなたの神、主は生きておられます。

私には、焼いたパンなどありません。かめの中に一握りの小麦粉と、瓶に少しの油があるだけです。見てください。私は二本の薪を拾って来ましたが、これから私と息子のために調理するところです。それを食べてしまえば、あとは死ぬばかりです。」¹³ エリヤは言った。「心配は要りません。帰って行き、あなたが言ったとおりに調理しなさい。だが、まずそれで、私のために小さなパン菓子を作り、私に持って来なさい。その後で、あなたと息子のために作りなさい。¹⁴ なぜなら、イスラエルの神、主はこう言われるからです。『主がこの地に雨を降らせる日まで、かめの小麦粉は尽きず、瓶の油がなくなることはない。』」¹⁵ やもめは行って、エリヤの言葉どおりにした。それで、彼女もエリヤも、彼女の家のもも幾日も食べることができた。¹⁶ 主がエリヤを通して告げられた言葉どおり、かめの小麦粉は尽きず、瓶の油がなくなることもなかった。

¹⁷ これらの出来事の後、この家の女主人の息子が病気になった。病気は大変重く、その子はいよいよ息絶えた。¹⁸ 彼女はエリヤに言った。「神の人、あなたは私と何の関わりがあるというのですか。あなたは私の過^{あやま}ちを思い起こさせ、息子を死なせるために来られたのですか。」¹⁹ しかしエリヤは、「子どもを私によこしなさい」と言って、彼女の懐^{ふところ}から息子を受け取り、自分が泊まっている階上の部屋に抱いて上がり、寝台に寝かせた。²⁰ そして主に叫んだ。「わが神、主よ、私が身を寄せているこのやもめにまで災いをもたらし、その子を死なせるおつもりですか。」²¹ 彼は子どもの上に三度身を重ね、主に叫んだ。

「わが神、主よ、どうかこの子の命を元に戻してください。」²² 主はエリヤの

^a 願いを聞き入れ、その子の命を元に戻されたので、その子は生き返った。

²³ エリヤはその子を抱いて階上の部屋から降りて家の中に入り、その子を母に渡した。そこでエリヤが、「御覧なさい。子どもは生きています」と言うと、

²⁴ 彼女はエリヤに言った。「あなたが神の人であることが、たった今分かりました。あなたの口にある主の言葉は真実です。」 (脚注 a: 直訳「声」)

《先週のメッセージより》2025年4月27日 復活節第2主日礼拝

「神はいつもあなた方と共にいる」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 28章 11-20節

今回のお話は「マタイによる福音書」の最後の場面でした。十字架で処刑されたイエス様は3日目には死から引き起こされて、ガリラヤで弟子たちと再会し、「私は世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる」(20)と言われました。この言葉から思い出されるのは、「マタイによる福音書」の冒頭「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。これは『神は私たちと共におられる』という意味である」(1:23)という言葉です。クリスマスに「神は私たちと共におられる」と呼ばれる方がお生まれになり、最後の28章では復活させられたイエス様が「私はいつもあなた方と共にいる」と宣言される。その二つの言葉に挟み込まれる形で、この福音書は記されていますから、この福音書に記されている物語は全て「神が共にいて下さる」ということはどういうことか、その中で私たちはどのように生きていくことが出来るのか、ということを表しているとも理解することができます。

19節に述べられている「バプテスマ(洗礼)」とは、元来「死とそこからの引き起こし」の象徴でした。イエス様の十字架上での受難のように、私たちも死にそうな目に遭うことがあります。とても生きていられないような苦しい目に遭うことがあります。そのような苦難の中にあっても、神と共にあって、そのような「死」の中から引き起こされて生きることが出来る。なぜなら、復活のイエス様が、今もいつまでも共にいて下さるから。「そのことを全ての人々に身をもって伝えて行きなさい」。「一人一人が自分事として、自身の歩みで周囲に示していきなさい」……。それこそがイエス様の遺言、残された最後の命令の意味だったのではないかと思います。決して、いいことばかり、楽なことばかりではない現実世界の中で、「死から引き起こされた復活のイエス・キリスト」と共に生きる。私たち自身が「復活の命を生きる」とは、神が今もこれからも、いつでもどこでも共にいて下さるということに、信頼して歩むということ。安易に「大丈夫」とは思えないような時でも、「神様が一緒にいてくれるから大丈夫。周りで支え助けてくれる仲間たちと一緒に、思い切って一步を踏み出してみよう」と思って、信頼して歩みを起こしてみること、ではないでしょうか。復活のイエス様は、今日も確かに、私たち全ての人々と共におられます。その真実の言葉によって、私たちはまた今日もここから、導かれて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 4 月 27 日

教会での礼拝は休会でした。YouTube でのメッセージの配信のみ行いました。
中継視聴者数 5 回 感謝

◎次週 2025 年 5 月 11 日（日）家族の日礼拝（復活節第 4 主日礼拝）

招きの詞 詩編 136 編 1-4 節

聖書 コリントの信徒への手紙 I 12 章 3-13 節

メッセージ 「神の恵みは思いのままに」牛田匡牧師

賛美歌

◎お知らせ

- ・明日 5 日（月）～6 日（火）にかけて大阪教区総会が大阪女学院ホールチャペルにて開催されます。久宝教会からは牛田匡牧師と さんが出席予定です。
- ・5 月 8 日（木）9 時半～11 時半にかけて釜ヶ崎 いこいの家にて、「聖書を読む会」を行います。テキストはコピーを配布いたします。参加費は無料ですが、カンパがあります。
- ・先月 4 月 13 日から開催されている「大阪関西万博」に関する「連続講演会」（大阪教区社会委員会主催）の第 2 回目が来週 5 月 11 日（日）15 時～17 時にかけて東梅田教会にて開催されます。講師は、増田 斎さんです。参加費は無料、事前申込も不要です。
- ・来週 5 月 12 日（月）13 時半～15 時半にかけて在日韓国基督教会館にて「部落問題にとりくむキリスト教連帯会議」総会記念講演会が開催されます。講演は「韓国ドラマを通して差別について考える」（講師：高吉見さん）です。参加費は無料で、事前の申込も不要です。会場での対面参加の他、オンライン参加も可能です。ZOOM ミーティング ID 883 8011 929 パスコード 290990 を直接入力してご参加ください。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/11	牛田匡牧師	家族の日礼拝
5/18	牛田匡牧師	おにぎり支援
5/25	牛田匡牧師	誕生者祝福式
6/1	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会

大阪教区社会委員会 連続講演会

70 年万博の全容

第1回 なぜキリスト教界は

万博に **参加** したのか

3/30(日)

15:00～17:00

5/11(日)
15:00～17:00

第2回 なぜキリスト教界は

万博に **反対** したのか

講師：増田 斎さん

国際日本文化研究センター博士研究員・明治学院大学キリスト教研究所協力研究員
主な著作「1970年キリスト教界における戦後主体性論争——大阪万博キリスト教館と万博反対運動」
(佐野真由子編著「万博学——万国博覧会という、世界を把握する方法」恵文社出版、2020年)

会場：東梅田教会

間もなく大阪・関西万博2025が開かれようとしています。70年万博は、日本のキリスト教界に強烈な問いを投げかけました。キリスト者が社会と関わるにはどうということなのか…。異なる立場が生じ、各々が信仰の問題として向き合いました。あの時代、キリスト教界ではどのような事が起こっていたのか。今回、キリスト教館を巡る議論について歴史的に研究されてこられた増田斎さんをお招きし連続講演会を行います。50年前の万博と重ねつつ、今、私たちの立ち位置を見つめ直す、学びの時にしましょう。

主催 大阪教区社会委員会

問い合わせ：uccj.osaka.shakai@gmail.com

2025 年度 部 キ 連

（部落問題に取り組むキリスト教連帯会議）

「韓国ドラマを通して
差別について考える
～韓流 20 年 プームを振り返りながら～」

講 師：高吉見さん

（兵庫県保徳連帯協議会事務局）

【概要】

「韓流プーム」は 2004 年、地上波で「冬のソナタ」が放映されたのをきっかけに始まったといわれています。あれから 20 年。韓流コンテンツは世界的な人気を博し、「韓国」はより身近な国となりました。韓国のドラマは、歴史的な事件や社会問題を、異文化から捉えます。ときに目をそむけたくないような差別的な表現を通して、何を訴えかけているのか。そこから何を学ぶのか、ともに考えます。

【プロフィール】

高 吉 見（こう・きんみ）

在日コリアン3世。

兵庫県保徳連帯協議会事務局に勤務。兵庫県内の85個保徳をとりまとめ、人権に関する情報提供や、海外研修の企画運営を担当する。

元一級社団法人ひょうご労働解放・人権研究所事務局長／国郡高知学会会員／

韓国韓林大学『地味日報』刊行企画編集員

日 程：2025 年 5 月 12 日（月）

13:30～15:30

場 所：在日韓国基督教会館
（KCC 会館）ホール

参 加 無 料

大阪市生野区中川西 2-6-10（公共交通機関をご利用下さい）

およびオンライン配信

ミーティング ID: 833 8011 929 パスコード: 290990

申込はありません。当日会場にお越し下さるか

Zoom ミーティングにアクセスして下さい。

会場へ直接の
問い合わせは
ご遠慮下さい

お問合せ：部キ連議長 奥村真亮（日本聖公会）

Tel: 0739-34-3006 fax: 0739-34-3007 Mail: mcmadr7@gmail.com